

新型コロナウイルス感染症拡大防止チェックシート

施設名： _____ (_____ 区) 記入日：令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

連絡先： _____ (窓口の方の氏名： _____) 記入者： _____

★当てはまる項目にチェックまたは○をしてください。

チェック	健康状態の把握と対応(スタッフと利用者について)
1	自己申告制ではなく、施設が体調（発熱や症状の有無など）の確認をしている。
2	発熱や呼吸器症状等の症状が出た場合、感染症を疑った対応をしている。
3	同じ症状の人が2名以上出た場合に、施設がある区の保健センターに相談をしている。
4	スタッフの体調が悪いとき、仕事を休めるような体制になっている。
チェック	マスクの着用
5	スタッフは勤務中、常に口と鼻を覆うようにマスクをしている。
6	利用者にも可能な限りマスクの着用を促している。
チェック	手洗いや手指消毒の実施
7	自動水栓がある。
8	手洗いは、液体石鹸と流水で15～30秒以上行っている。
9	手拭きは、ペーパータオルか個人用タオルを使っている。
10	手指消毒をするとき、消毒液のポンプを押すときは、必ず下まで押し切っている。（3ml）
11	利用者が車で移動するときは、乗車前に手洗いや手指消毒をしている。
12	スタッフは介助する利用者ごとに、手洗いや手指消毒をしている。
チェック	密を避ける(換気)
13	休憩時間にスタッフが集まって、マスクを外した飲食や会話をしないようにしている。
14	スタッフと利用者は同じ部屋で食事をしないようにしている。
15	利用者が食事をするときは、対面で座らないようにし、隣の席を1席以上の間隔をあけて座っている。
16	大声を伴う活動（合唱、カラオケなど）や息が荒くなるような運動を集団で行うことを控えている。
17	二方向を開放して、部屋（車や浴室等を含む）に空気の流れをつくっている。または、部屋の空気がすべて外気と入れ替わるような換気をしている。 （程度：30分に1回以上、数分間程度、窓を全開にする）
チェック	使い捨て手袋、使い捨てガウン(エプロン)、ゴーグル(フェイスシールド)の使い方
18	食事介助や排泄介助、有症状者の介助は、使い捨て手袋と使い捨てガウンを（エプロン）を着用している。
19	上記の人の介助をした後は、手袋とガウン（エプロン）は必ず交換する。
20	食事介助のときや大声を出す人の介助には、マスクと併せてゴーグル（フェイスシールド）を着用している。
21	手袋やガウン（エプロン）の着脱の手順を、着脱場所に掲示している。
チェック	環境整備
22	消毒液はアルコール（70%以上）や次亜塩素酸ナトリウム液（0.05%）を使用している。
23	消毒液の効果を保つために、開封日や作った日を確認している。
24	汚れたものと清潔なものが混在しないような、物品の配置になっている。
25	清潔なものを触る前は手洗いや手指消毒し、物品が汚染しないようにしている。
26	スタッフや利用者がよく触る場所や物品は定期的に拭いている。（使用ごとが望ましい）
チェック	マニュアル
27	感染症対策マニュアルがあり、スタッフで情報共有している。
28	感染症対策マニュアルには、施設内で感染を疑ったスタッフからの報告・連絡方法が記載されている。
29	感染症対策マニュアルには、日常に行う予防対策、患者の発生時の対応策が盛り込まれている。
チェック	その他
30	吐物処理セットを備えている。